

# 『企業シリーズ』 第3回

## 安全計装システムを推進する

# ヒーマ日本支社

「企業シリーズ」では、計測制御分野に関して注目を集める技術やビジネスモデルを持つ企業のキーマンにお話を伺い、その特色ある技術・ビジネスモデルをご紹介します。今月は、ドイツを中心としたヨーロッパにおいてプロセス用セーフティシステムの市場No.1の地位を保ち、2007年に日本支社をオープンした、ヒーマ社を紹介いたします。日本でのセーフティシステム市場展開についてヒーマ日本支社長 田代久登氏に、お話を伺いました。



日本支社長 田代久登

### ■会社の設立時期と経緯について

HIMA社は、1908年にマンハイムで創業され、今年で100周年を迎えました。HIMAという社名は、創業者の Johannes Hildebrandt と地名の **MA**nnheim に由来します。1970年、世界で最初にTUV（ドイツの国際的試験・認証機関）からセーフティシステムとして認証を受け、それ以来セーフティシステムにビジネスを集中し、テクノロジーリーダーとして世界に広く認められています。当初はドイツを初めとするヨーロッパ市場が中心でしたが、2000年からワールドワイドにビジネスを展開しています。日本では2007年に日本支社をオープンし、日本のユーザーのみならず商品とサービスを提供しています。

### ■経営理念

HIMA社は創業者一族が経営を担っており、現在は4代目になります。同族経営なので企業買収や売却の心配がなく、そのこと自体が会社の“セーフティシステム”となっています。目先の利益を追う必要がなく、顧客やビジネスパートナーとの長期間の信頼関係を重要視してい

ます。

また、各世代のセーフティシステムのテクノロジーは、HIMAによって進化してきました。今後もこの分野に経営資源を集中していきます。

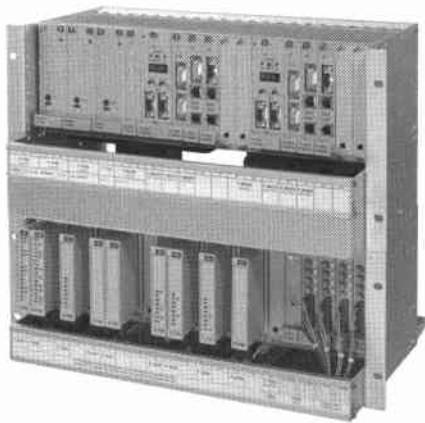
### ■業務内容

ビジネスはセーフティシステムに特化しています。セーフティPLCやI/Oなどのハードウェアとソフトウェアの開発と製造、エンジニアリング、コンサルテーション、アフターサービス、トレーニングが業務の中心です。

### ■重点事業の特色、およびユーザー層

石油精製プラントや化学プラントがユーザーの8割を占めます。ヨーロッパではこの分野では40%近くのシェアを持っています。中東やロシア、中国、東南アジアなどの新興国にも多くの実績があります。

それ以外にも、自動車産業やビルディングマネジメントなどのセーフティシステムにも活用されています。目新しいところでは、空港のターンテーブルやアミューズメントパークなどでも使われています。



## ■社会的意義

安全に関する規制は、世界的に厳しくなる傾向にあります。日本でも、これまでプラントの安全を支えてきた熟練のオペレータやエンジニアの多くが定年を迎えて職場を離れます。これまで人に頼っていた安全を、これからはシステムとして合理的に確立していく必要に迫られています。HIMA社は、セーフティシステムの分野で常に世界最先端の技術を提供してきました。ひとたび事故が起きると、人を傷つけ、設備を損傷し、環境を汚染します。事故を未然に防ぎ、被害を最小限に留めるよう、今後もセーフティシステムを提供していきます。

## ■取り組みたい事業

今年2月に、JIS C 05111-1 機能安全—プロセス産業分野の安全計装システム—第1部が発行されました。これは法律ではないので強制力はありませんが、この分野でセーフティシステムの考え方を設計に反映させることが多くなると予測しています。これをきっかけとして、セーフティシステムの普及活動を行っていきたいと考えています。

## ■会社概要

会社名	HIMA Paul Hildebrandt GmbH+CoKG ヒーマ ポール ヒルデブランド GmbH+CoKG
設立日	1908年
本社所在地	Albert-Bassermann-Straße 28 68782 Brühl, Germany Phone+49-6202-709-0
資本金	1,500,000ユーロ
業務内容	安全計装システムに関する下記の業務 ・ PLC、I/Oなどのハードウェアの開発、製造 ・ ソフトウェアの開発、製造 ・ トレーニング ・ サービス ・ プロジェクト・マネジメント ・ コンサルティング
従業員	600名
URL	<a href="http://www.hima.com">http://www.hima.com</a>
ネットワーク	世界14カ国に事業所と子会社、43カ国に代理店
日本支社	〒150-0021 東京都渋谷区恵比寿西2-2-6 恵比寿ファイブビル5F TEL03-3780-7037 FAX03-3780-7057
日本支社長	田代 久登